

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

日本古来の社寺仏閣などの伝統建築物を守り、育てるため、技術の錬磨と若手後継者の育成を図ると共に、森林資源の育成、活用、生態系維持も同時に図るモデル的な建築企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	県産材を活用し県内外の社寺仏閣(沖縄県の首里城を含む)の保全、再建支援等を行う。	社寺仏閣の保全件数 2023年～2026年で4件
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	インターンシップの積極的な受け入れ	インターンシップ受け入れ人数 2023年～2026年累計で5人
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	森林の管理、育成による生態系の維持、再生	2023年～2026年にかけて 7.8haの森林の維持管理、育成を実施する。

<パートナーシップ>

主な対象が社寺仏閣でもあり、我が国の歴史、文化、伝統を守り、育てるとの使命を社員、社寺所有・管理者、地域、行政等とも共有、連携するとともに、関係者と原材料となる森林の維持、管理、育成を図り、地域環境の創生に積極的に貢献していく。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・県産材を活用し県内外の社寺仏閣(沖縄県の首里城を含む)の保全、再建支援等を行う	社寺仏閣の保全件数 3年間で5件程度	3年間で新築、改築含めて8件
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・インターンシップの積極的な受け入れ	3年間で6人の受け入れ	コロナ等の影響で3人の受け入れ
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・森林の管理、育成による生態系の維持、再生	3年間でクヌギなど広葉樹を600本植栽	豪雨災害で森林内作業道の流出等のため新規植栽ができなかった。

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。